

スキーなどを通じて  
スポーツの楽しさを伝えたい

元SAJ(財団法人全日本スキー連盟)デモンストレーター

海野 うんの 義範 ぎはん さん



元SAJデモンストレーター(全国にスキーの最新技術を広める役目)で、夏油高原スキースクールに所属している海野さん(更木)。スキースクールで指導するときは「楽しかったと思ってもらえること。その場の雰囲気作りが大事」と話し、分かりやすい表現で伝えることに気を付けているそうです。また、「夏油高原スキー場は、とても雪質が良く、毎日のように新雪を滑れることができます。全国的に見ても、ほかになかなかないスキー場なので、多くの人に楽しんでもらいたいし、いろいろな場で夏油の魅力を紹介していきたい」と話していました。

海野さんは、更木にある永昌寺の副住職で、東日本震災を機に月2回、仮設住宅での傾聴活動やふれあい支援をしているとのこと。その中で知り合った大船渡市のスポー

ツ少年団と一緒に活動を行い、一年を通してスキーなどスポーツの楽しさを伝えていくうちに、デモンストレーターとして活動する時間を沿岸被災地での活動や、子どもたちにもスポーツの楽しさを伝えることにこれまで以上に充てたいと思ひ、昨年、5期10年にわたり勤めたデモンストレーターを退きました。

デモンストレーターとしての役目は終わりましたが、今後も選手としては、スキーで斜面を滑る技術などを競う全日本技術選手権大会(同連盟主催)などの大会には出場していくそうです。また、「北上から日本を代表する選手が出るような環境づくりもしていきたい」と話し、これからもスキーなどを通じて、さまざまな活動を精力的に行っていきます。

博物館た"より

雪ふみ(踏俵)~雪と共存する~

フラなどを俵型に編んだ履き物で、踏み固めて歩きやすい道をつけます



北上は雪国。雪と共存する工夫がさまざまになされてきました。今は除雪車が朝早く出勤してきれいにしていますが、かつて雪は取りのけるものでなく、踏み固めるものでした。大雪の朝、この踏俵で雪を踏みつけて道をつけ、往き来しました。内底にはゾウリを取り付け、内側に細い縄を付けて、足を持ち上げやすいようにしています。雪踏みは、集落の各家から人手を出す共同作業で行われ、道路を確保して人々の冬の命と暮らしを守りました。

博物館・みちのく民俗村 立花14-59 ☎64-1756  
開館時間：午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日：12月1日~3月31日の期間は月曜休館(祝日などの場合は翌日)、12月28日~1月4日  
入館料：一般500円、高校生240円、小中学生170円  
(20人以上で団体料金となります)



中央図書館 ☎ 63-3359 江釣子図書館 ☎ 77-2215 和賀図書館 ☎ 72-2322  
 中央図書館のホームページ <http://www.library-kitakami.jp/>

## 《1月の新着本から》

- |       |                     |                |
|-------|---------------------|----------------|
| ▼ 一般書 | 上手な医者のかかり方          | 楊 浩勇           |
|       | 月桂冠社員の酒粕レシピ         | 月桂冠株式会社 監修     |
|       | 夫婦の散歩道              | 津村 節子          |
|       | 冷血 上・下              | 高村 薫           |
|       | 55歳からのハローライフ        | 村上 龍           |
|       | 残り全部バケーション          | 伊坂 幸太郎         |
| ▼ 児童書 | 雲ごよみ 天気と季節の観察図鑑     | 高橋 健司 写真・文     |
|       | ぼくらの津波てんでんこ         | 谷本 雄治          |
|       | 大統領の秘密 マジックツリーハウス33 | メアリー・ポープ・オズボーン |
|       | ルドルフとスノーホワイト        | 齊藤 洋           |
|       | わたしのゆたんぼ            | きたむら さとし 絵・文   |

## 《2月のイベント情報》

### ■おはなし会スペシャル

2月8日(金)午前10時~11時 江釣子図書館  
 2月9日(土)午前10時30分~11時30分 中央図書館

### ■こども映画会

2月23日(土)午前10時30分~11時30分 中央図書館

## 《おすすめ新着本》

『なるほど知図帳日本 2013』



谷治 正孝/監修  
昭文社

介護、いじめ、エネルギーなど現代を取り巻く社会問題の解説ページと地図帳が1冊になっています。ニュースを読み説くキーワードの基本が分かれます。

『物語の迷路』 アンデルセンから宮沢賢治の世界まで



香川 元太郎/作・絵  
PHP 研究所

ページを開くと「不思議の国のアリス」や「宝島」などのストーリーが絵になっています。絵の中には迷路があって、途中にはキャラクターや文字などいろいろなものが隠されています。迷路と絵と物語と一緒に楽しめる絵本です。

### 消防出初式より



1月6日、日曜日。恒例の消防出初式がさくらホールを会場に開催された。我が家から消防の制服制帽で出かけようとすると、帰省していた娘に写真を撮るからと引き止められる。小学校に入学する訳でもあるまいしと思いつつも、嫌とも言えず撮影に応じる。この日は冬の気圧配置で西風が冷たく、かなりの厚着で出かける。さくらホールで開催される前は黒沢尻西小学校の校庭で開催されており、かつては厳しい寒さの中の出初式だったようだ。西和賀町では今も屋外での開催だと聞いているが、屋内での開催は本当にありがたいことである。式典終了後、整然と並び市役所まで分列行進する消防団員を見て頼もしく思えたのは、恐らく私だけではないだろう。

沿道には多くの市民が並び、パレードを眺め声援していた。東日本大震災では、沿岸地域の多くの消防団員が津波の犠牲になったことは、まだ記憶に新しい。このことがあって、当市でも消防団員の減少に歯止めがかけられないのではないかと心配していた。昨年暮れに若手消防団員と懇談し、彼らの思いを聞く機会があった。その冒頭、団員数が千人の万台を回復したという報告があり、団をあげて勧誘活動をした成果とのことだ。近年、若い人たちの勤務形態も多様化している中で、団の活動をするこの大変さを考えると本当に頭の下がる思いである。彼らの多くは先輩団員の情熱に動かされて入団し、おしなべてみんな地域思いである。懇談会ではこれからの活動に対して前向きな意見が多く出され、中には有効な改善のアイデアなどもあって本当に意義ある会であった。

市民の生命と財産を最前線で守ってくれている消防団員に、私たち市民はもっと感謝をしなければならぬと強く感じている。